

第1部 ビジョンの基本的な考え方 (総論)

ビジョン策定の背景

ビジョン策定の必要性

札幌市を取り巻く経済・社会環境が急速に変化している中、様々な外的要因の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立するため、市民、企業、行政が共有する指針を描く。

～産業振興の目的～

- ・雇用の場の想像・確保
- ・企業・就業者の収入増加
- ・魅力あふれるまちづくりの実現

～札幌市を取り巻く社会・経済環境～

- ・長引く景気低迷
- ・人口減少と高齢化の進行
- ・グローバル化の進展と地球環境問題の意識の高まり
- ・地域主権型社会の到来

目指す姿

地域資源を活かした創造性あふれるまち

中小企業の活気があふれ新しい時代を先導するまち

世界に羽ばたく企業が躍進する活力あふれるまち

人と企業が世界中から集まる魅力的なまち

個性的なまちづくりと産業が結びつき地域が賑わうまち

施策展開の考え方

基本理念

地域の魅力と人の活力が創り出す
チャレンジ都市さっぽろ

施策展開に向けた視点

1. 北海道経済の中心都市としての機能・役割の発揮
2. 国・道・経済団体等と連携したオール北海道体制での産業振興
3. 道内循環の拡大と道外需要の開拓
4. 創造性を活かした産業の活性化

施策展開の方向性

1. 札幌市経済の成長をけん引する重点分野の明確化
2. 札幌市産業の高度化に向けた横断的戦略の構築
3. 札幌市経済を支える中小企業の経営革新と基盤強化

第2部 産業振興の展開 (各論)

札幌市経済の成長をけん引する重点分野

<p>北海道の豊富な「食」</p>	<p>主な施策 6次産業の推進による道産食品の付加価値向上、地産地消の推進、道外、海外への販路拡大など</p>	<p>全社会が一丸となって取り組む「環境」</p>	<p>主な施策 バイオマスエネルギーの開発・製造、省・新エネルギーの研究開発の促進、グリーンITの推進など</p>
<p>魅力的な資源を活かした「観光」</p>	<p>主な施策 道内市町村との連携した食などをテーマとしたニューツーリズムの開発、アジア・ロシアをターゲットとしたプロモーション、MICEの誘致など</p>	<p>今後需要が拡大する「健康・福祉」</p>	<p>主な施策 バイオテクノロジーを活かした健康産業の振興、健康意識の高まりに伴うサービス産業の振興、福祉・介護分野におけるものづくり産業の振興など</p>

<p>札幌市産業の高度化に向けた 横断的戦略</p>	<p>競争力を高めるための付加価値の創出</p>	<p>同業種・異業種連携の促進、産学官連携による付加価値の向上、IT・コンテンツの活用による高付加価値化、企業誘致など</p>
	<p>札幌の産業を支える人づくり・地域コミュニティづくり</p>	<p>グローバル化などに対応する高度人材の育成、UIターンや二地域居住による人材誘致、商店街の活性化、ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの振興</p>
	<p>グローバル化への対応と販路拡大の推進</p>	<p>食や積雪寒冷地など強みを活かした海外進出、商流、物流ネットワーク体制の構築、海外との架け橋となる人材育成など</p>
	<p>創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮</p>	<p>積雪寒冷地技術の活用、ウィンタースポーツなどのスポーツ産業や音楽を中心とした文化産業の振興、プロスポーツを軸にした地域経済活性化、コンテンツ産業の活性化</p>

<p>札幌市経済を支える 経営革新と基盤強化 中小企業の</p>	<p>経営革新と創業の促進</p>	<p>企業の新分野進出、女性などの創業促進</p>
	<p>多様な人材の確保と育成</p>	<p>女性、高齢者、外国人の就業促進、若年層の人材育成など</p>
	<p>融資制度と経営アドバイザーの充実</p>	<p>融資メニューの充実、中小企業経営アドバイザー体制の充実など</p>

第3部 ビジョンの運用体制

<p>期間 平成 23 年度～32 年度の 10 年間</p>	<p>位置付け 第 4 次札幌市長期総合計画で定められた産業振興分野の方向性をもとに、具体的な施策展開を示すもの 札幌市中小企業振興条例に基づいて定めるビジョンに基づき、「ものづくり」「観光」「環境」などのアクションプランを策定予定</p>	<p>運用体制 中小企業振興審議会など市内中小企業者等の意見を踏まえながら、道内自治体や関係機関と連携のうえ、進行管理を行っていく。大きな経済の構造変化が生じた場合は、柔軟にビジョンの内容を改訂する。</p>
--	---	---

資料集

- 1 札幌市産業の現状分析
- 2 産業振興ビジョン策定に係る基礎調査
- 3 パブコメ結果